

「学び続ける教師」を育む、学び合い高め合える教職員組織づくり
～日常的な取組の意識化、最適化、活性化～



京都市総合教育センター 研究課 研究員
大上 由加里

OJT?

- ・ OJTを意識した取組 = **若手教職員対象**の研修
- ・ OJTに対する個々の**意識の違い**や学校ごとの**取組の差**が大きい
- ・ 教職員同士が学び合い高め合える**職場環境（意識、時間、人材）**に課題

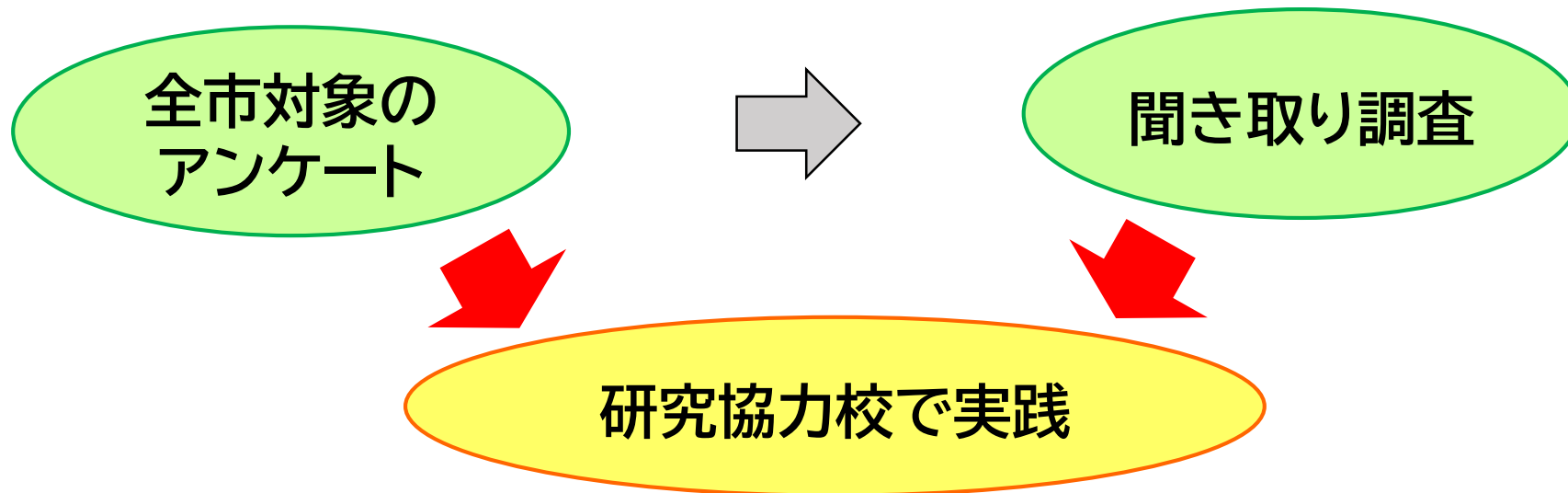
〈学校現場におけるOJT〉

日々の教育活動を通じた教職員同士の学び合い高め合う
取組全て

今年度の研究テーマおよび実践の進め方

「**学び続ける教師**」を育む、**学び合い高め合える教職員組織づくり**
～ 日常的な取組の意識化、最適化、活性化 ～

- ◇社会の変化を捉えながら、**主体的に学び続ける教職員**
- ◇教職員同士が**学び合い、相談し、支え合える教職員組織**



「学び続ける教師」を育む、学び合い高め合える教職員組織



より効果的な取組



活性化

最適化

意識化

見える化

・学び、取組、成果、課題 など

OJTを有効に機能させる三つの要素

- (1) 明確な課題の共有による全員の参画と動機付け
- (2) 伝承や育成を意識した組織づくり
- (3) 多様な学び合いの機会の設定

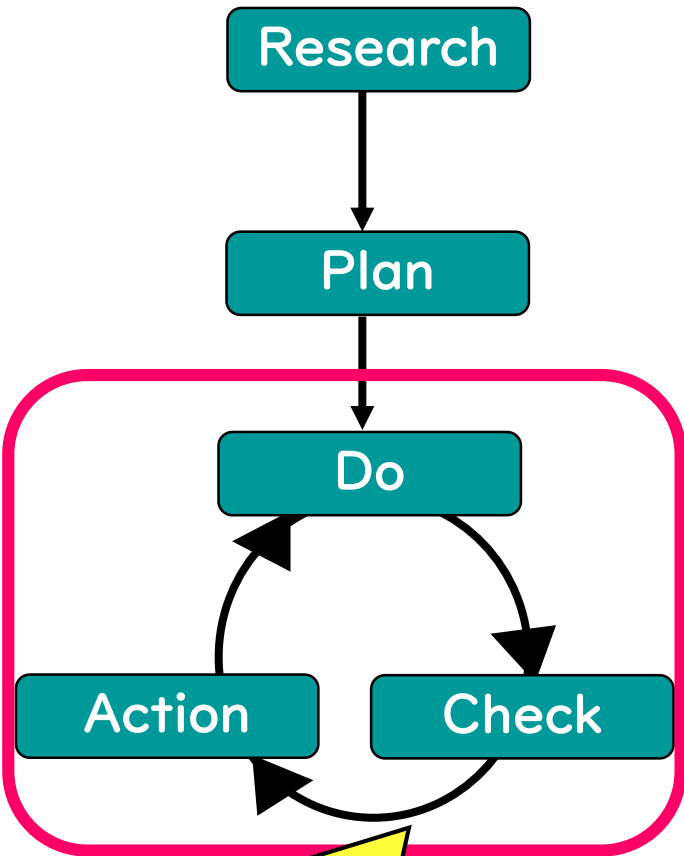
既存の取組

- ・校内研修会
- ・学年会
- ・教科会 など

学校長や各主任の的確なマネジメント

- ・トップダウンとボトムアップの使い分け
- ・一人一人の教職員が力を生かせる役割分担
- ・常に新たなことに目を向け、先を見通した行動

各校での実践の進め方



授業改善、学力向上

A小学校…チームで行う授業改善

B小学校…系統性を意識した授業改善

C中学校…教科会、学力向上委員会の内容の工夫

D中学校…ワークショップ形式の学び合い

見える化



・学び、取組、成果、課題 など

最適化

◎教職員アンケート(7月、12月)

*補助資料Ⅰ、Ⅱ参照

学校長や各主任の的確なマネジメント

「学び続ける教師」を育む、学び合い高め合える教職員組織

学校長や各主任の的確なマネジメント

- ・ トップダウンとボトムアップの使い分け
- ・ 一人一人の教職員が力を生かせる役割分担
- ・ 常に新たなことに目を向け、先を見通した行動

活性化

OJTを有
(1)
(2)
(3)

(化)
など

学校長や各主任の的確なマネジメント

- ・ トップダウンとボトムアップの使い分け
- ・ 一人一人の教職員が力を生かせる役割分担
- ・ 常に新たなことに目を向け、先を見通した行動

各主任の的確なマネジメント

学校教育目標
目指す子ども像

管理職

〇〇
主任

学年
主任

教務
主任

研究
主任

〇〇
主任

各主任の的確なマネジメント

教務主任

*人と人をつなぐために

○チーム目標の設定

○いいところ見つけ

○がんばり紹介

…意欲の向上
同僚性
組織力の向上



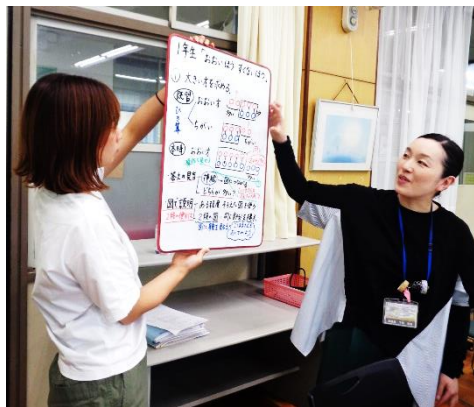
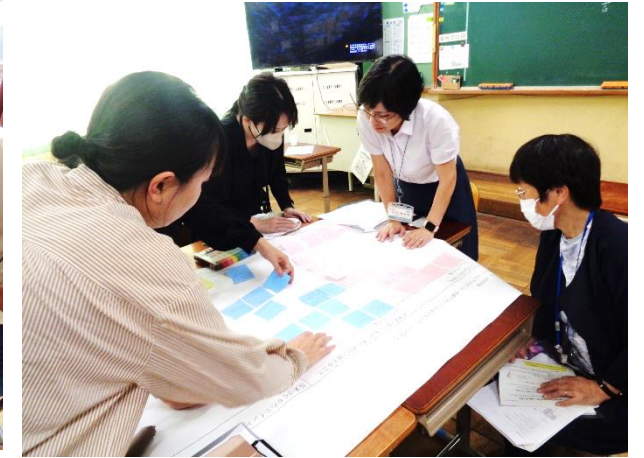
研究主任

*主体的な学び合いにするために

○問いかけ

○研究部だよりの活用

○ICTの活用



研究部だより (研修への誘いとなる話題)

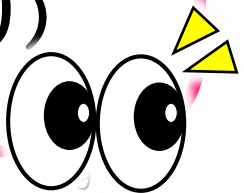


…**動機付け**

研修会の実施



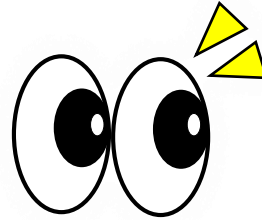
研究部だより (研修会の振り返り)



学年主任

*学び合い高め合う学年会にするために

○To Doリストの作成



○役割分担

○得意なことを生かす

…対話を通じた学び合い



「学び続ける教師」を育む、学び合い高め合える教職員組織

OJTを有効に機能させる三つの要素

- (1) 明確な課題の共有による
全員の参画と動機付け
- (2) 伝承や育成を意識した組織づくり
- (3) 多様な学び合いの機会の設定

- ・ トップダウンとボトムアップの使い分け
- ・ 一人一人の教職員が力を生かせる役割分担
- ・ 常に新たなことに目を向け、先を見通した行動

(1)明確な課題の共有による全員の参画と動機付け

テーマを設定した教科会

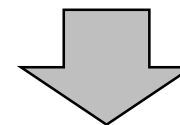
*全教職員で同じ方向を向いて取り組むために



○教科会テーマ

- ①「学習指導要領を読む」
- ②「授業改善のための具体的な取組や工夫」
- ③「指導案や授業を見る視点について」

☆学びの蓄積 → 繋がり



授業改善

考える機会

同僚と話す機会

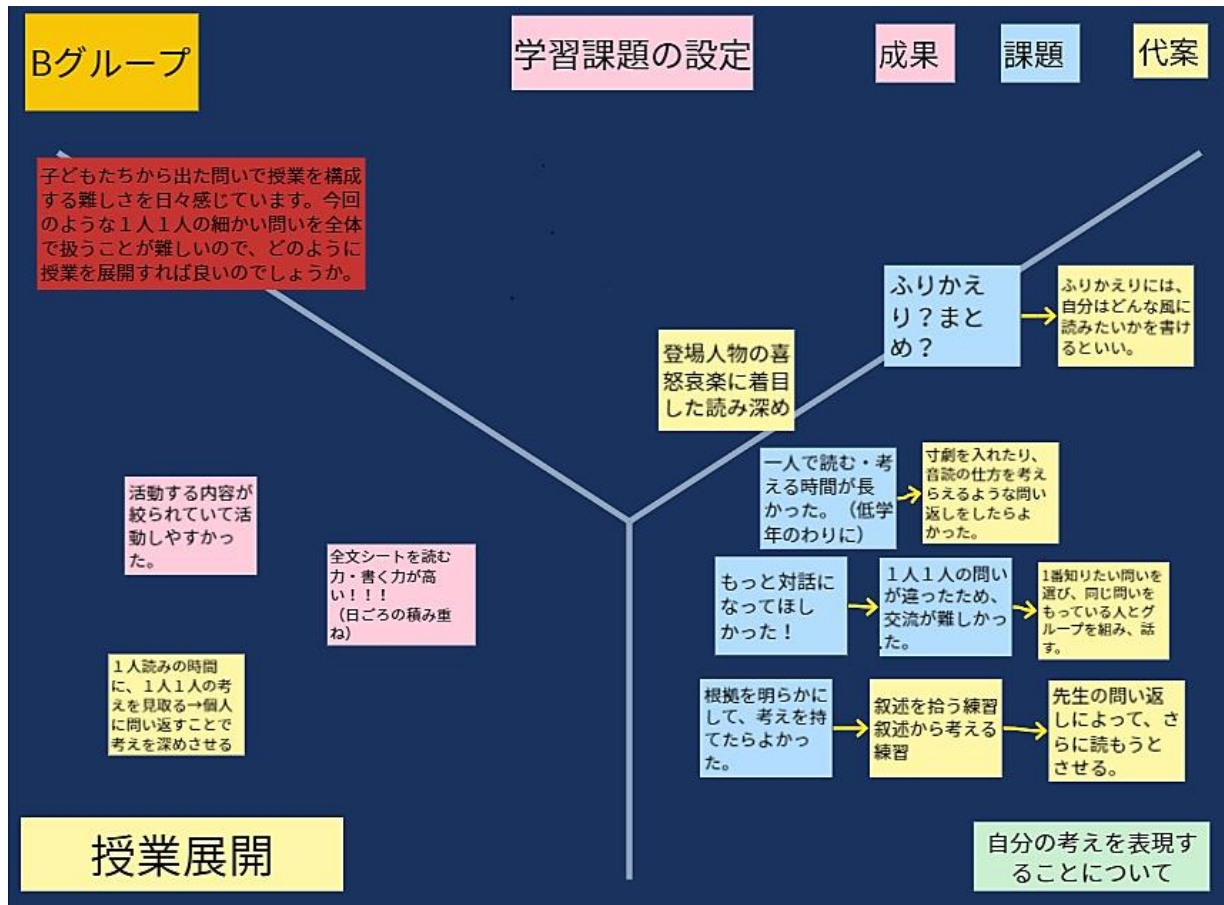
(1) 明確な課題の共有による全員の参画と動機付け

統合端末を用いた学びの共有

*研修会での学びを日常の教育活動につなげるために



・データの蓄積
・振り返り

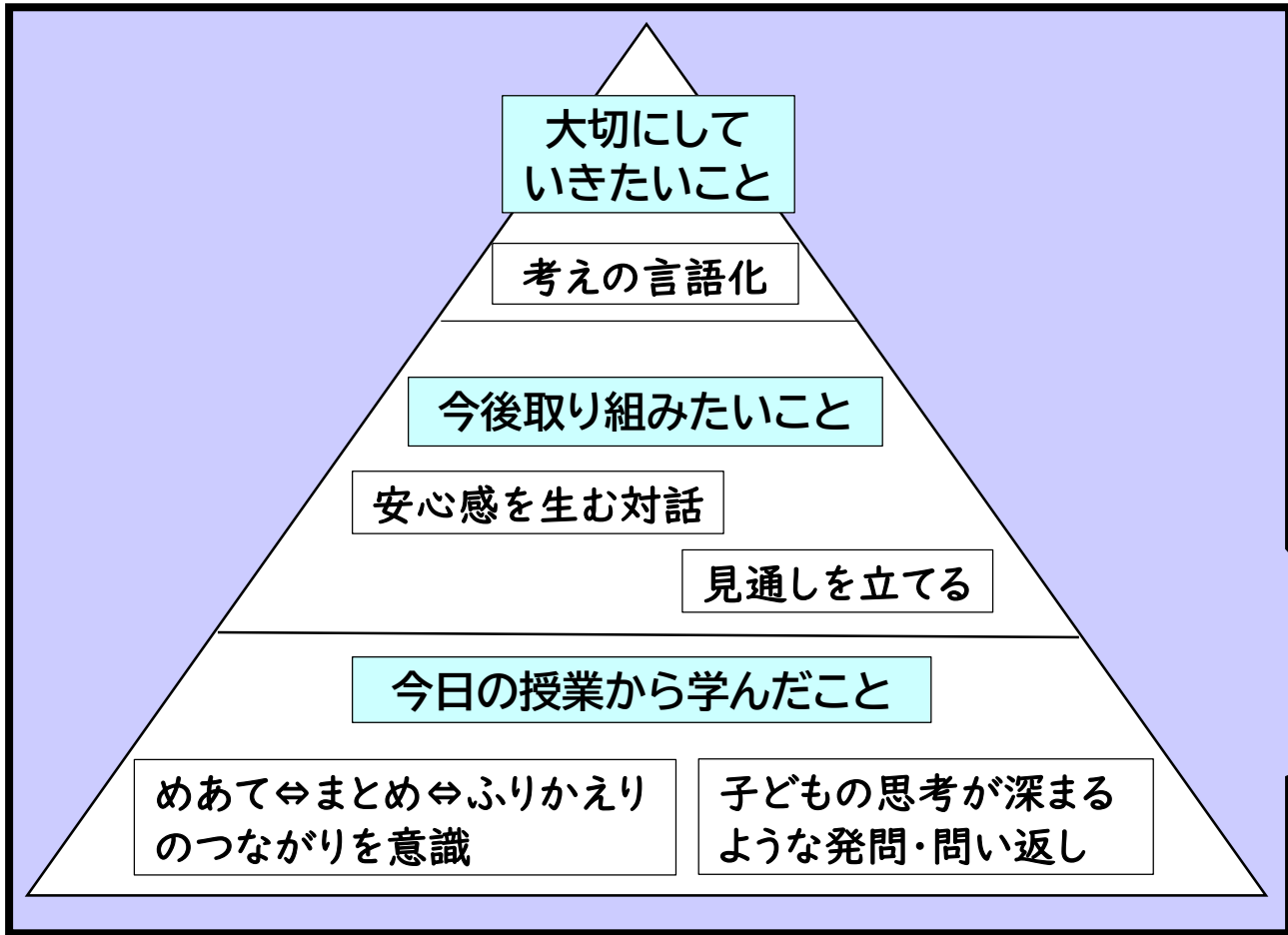



- 各学年ふりかえり
2023年9月28日 16:34
- 9.28 (2-2国語) 事後研究協議会
2023年9月28日 16:18
- 9.6 (2-2国語) 事前研究協議会
2023年9月20日 07:49
- 8.23_NIE全国大会 伝達研修
2023年8月23日 10:48
- 5.25_研究提案授業【算数】 (6...
2023年7月24日 16:46
- 6.29 (6-3社会) 事後研究協議会
2023年6月29日 18:07

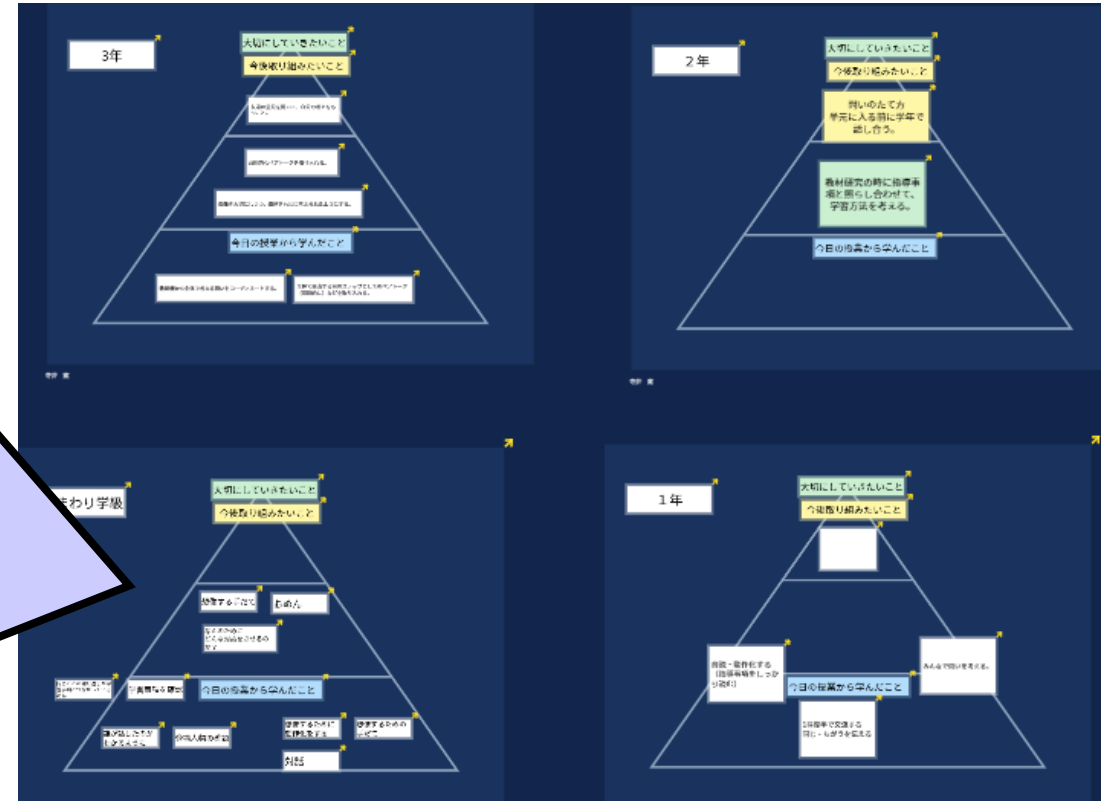
(1) 明確な課題の共有による全員の参画と動機付け

統合端末を用いた学びの共有

*研修会での学びを日常の教育活動につなげるために ➡96%〇



☆学びの見える化  ・データの蓄積
・振り返り



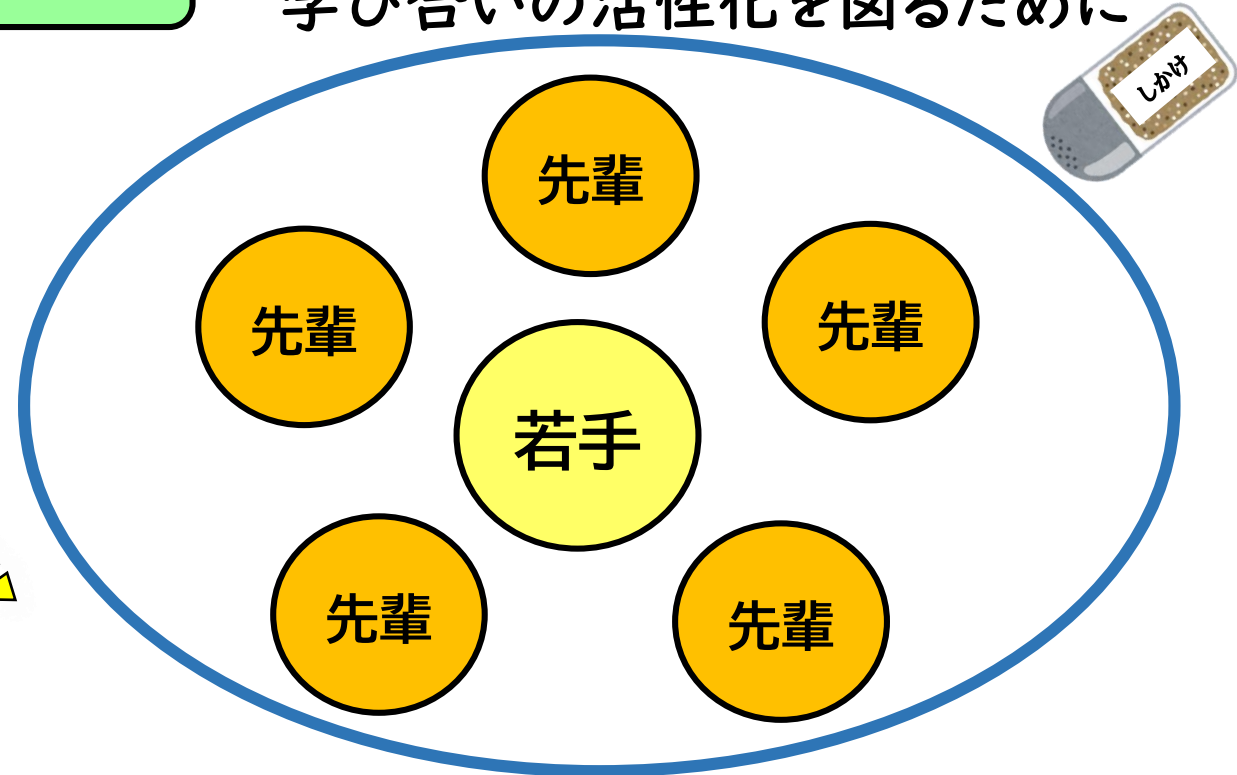
(2) 伝承や育成を意識した組織づくり

若手教職員が企画運営する学び合いの場

*若手教職員の育成と教職員全体の学び合いの活性化を図るために

「学び愛くらぶ」

- ・公開授業
- ・校外研修で学んだことの伝達
- ・板書やノート、授業の様子等の共有



同僚性

協働する力

組織力

(3)多様な学び合いの機会の設定

ワークショップ形式の学び合い

*全教職員で授業づくりを行うために



- 夏季研修会
- 校内授業研修会
- ミニ研修会
- OJTプチ研修



学び合い高め合う

71.4% → 82.6%

協働する力

46.6% → 78.9%

(3) 多様な学び合いの機会の設定



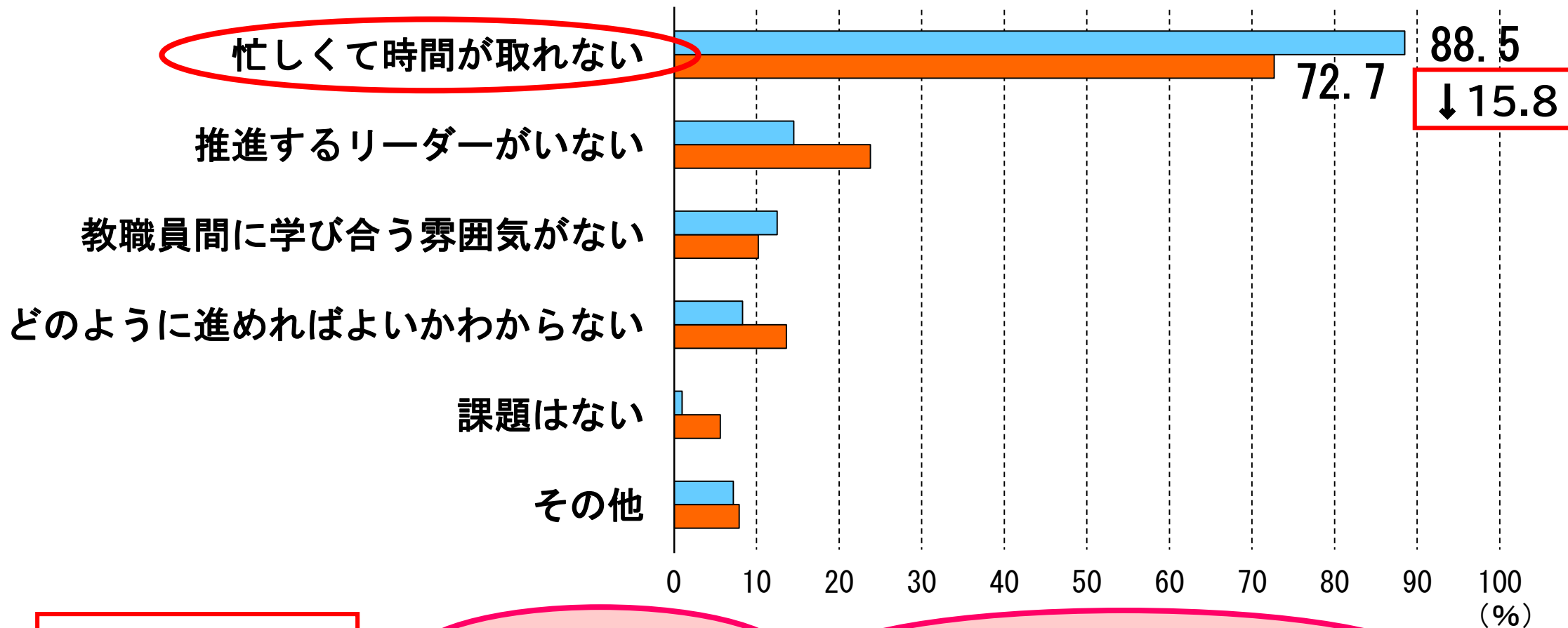
主体的に参加

学びを生かす

学び合い高め合う教職員組織づくりを進める上での課題

校内でさらに教職員同士の学び合いや高め合いを進める場合、
どのようなことが課題になると思いますか。（複数回答可）

■ 7月 (n=96) ■ 12月 (n=88)



85%⇒55%

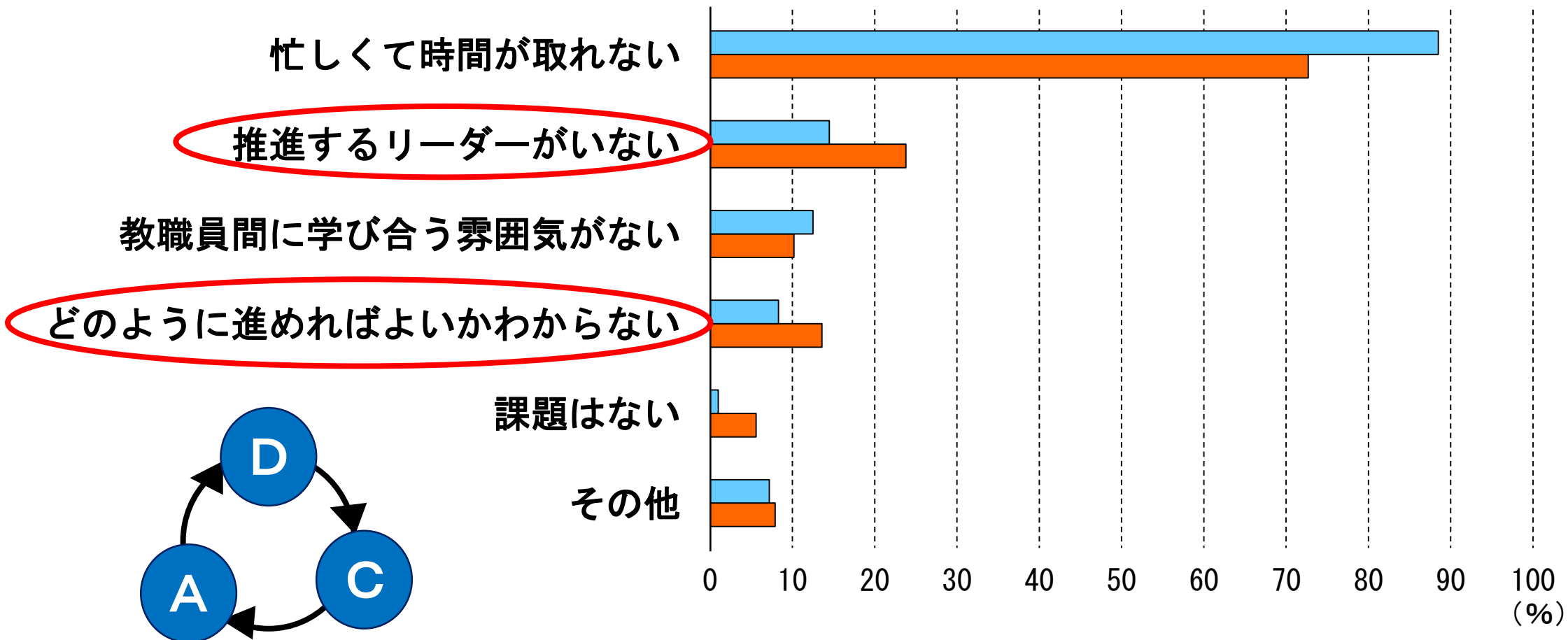
タスク管理

チームで取り組む

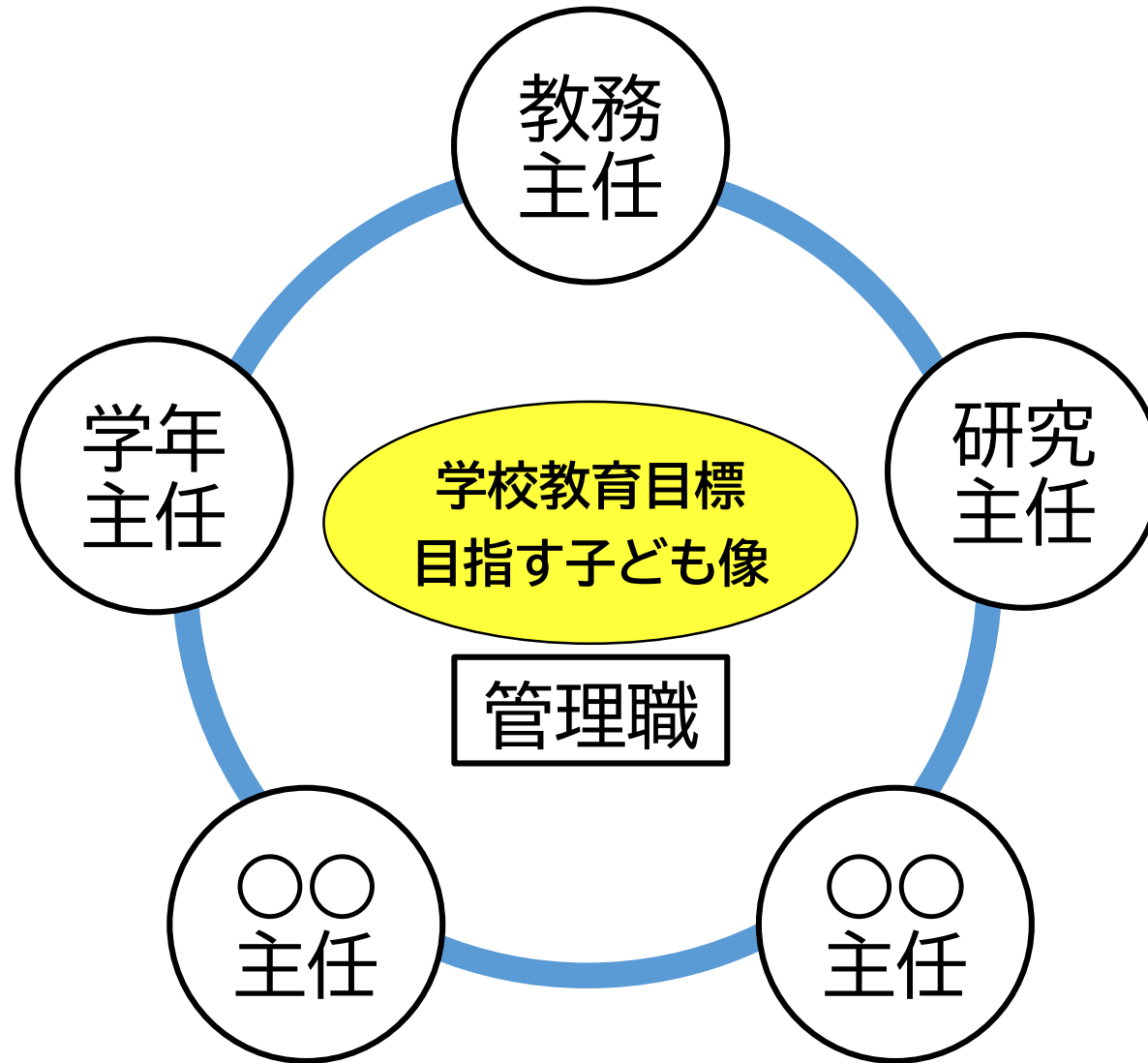
学び合い高め合う教職員組織づくりを進める上での課題

校内でさらに教職員同士の学び合いや高め合いを進める場合、
どのようなことが課題になると思いますか。（複数回答可）

■ 7月 (n=96) ■ 12月 (n=88)



学び合い高め合える教職員組織づくりを進めるために



学び合い高め合える
教職員組織づくりを進めるために

より効果的な取組

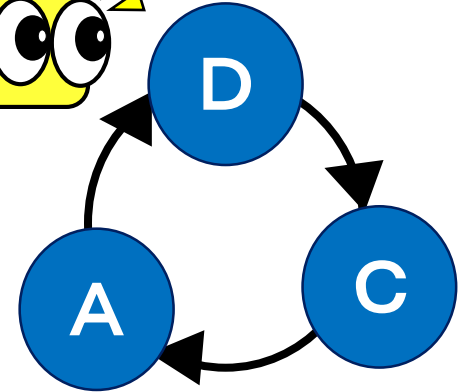
最適化



既存の取組

- ・ 校内研修会
- ・ 学年会
- ・ 教科会 など

見える化



0JTを有効に機能させる三つの要素

- (1) 明確な課題の共有による全員の参画と動機付け
- (2) 伝承や育成を意識した組織づくり
- (3) 多様な学び合いの機会の設定

学校長や各主任の的確なマネジメント

- ・ トップダウンとボトムアップの使い分け
- ・ 一人一人の教職員が力を生かせる役割分担
- ・ 常に新たなことに目を向け、先を見通した行動

学び合い高め合える教職員組織づくりを進めるために

・ OJTを意識した取組 = **全教職員が対象**



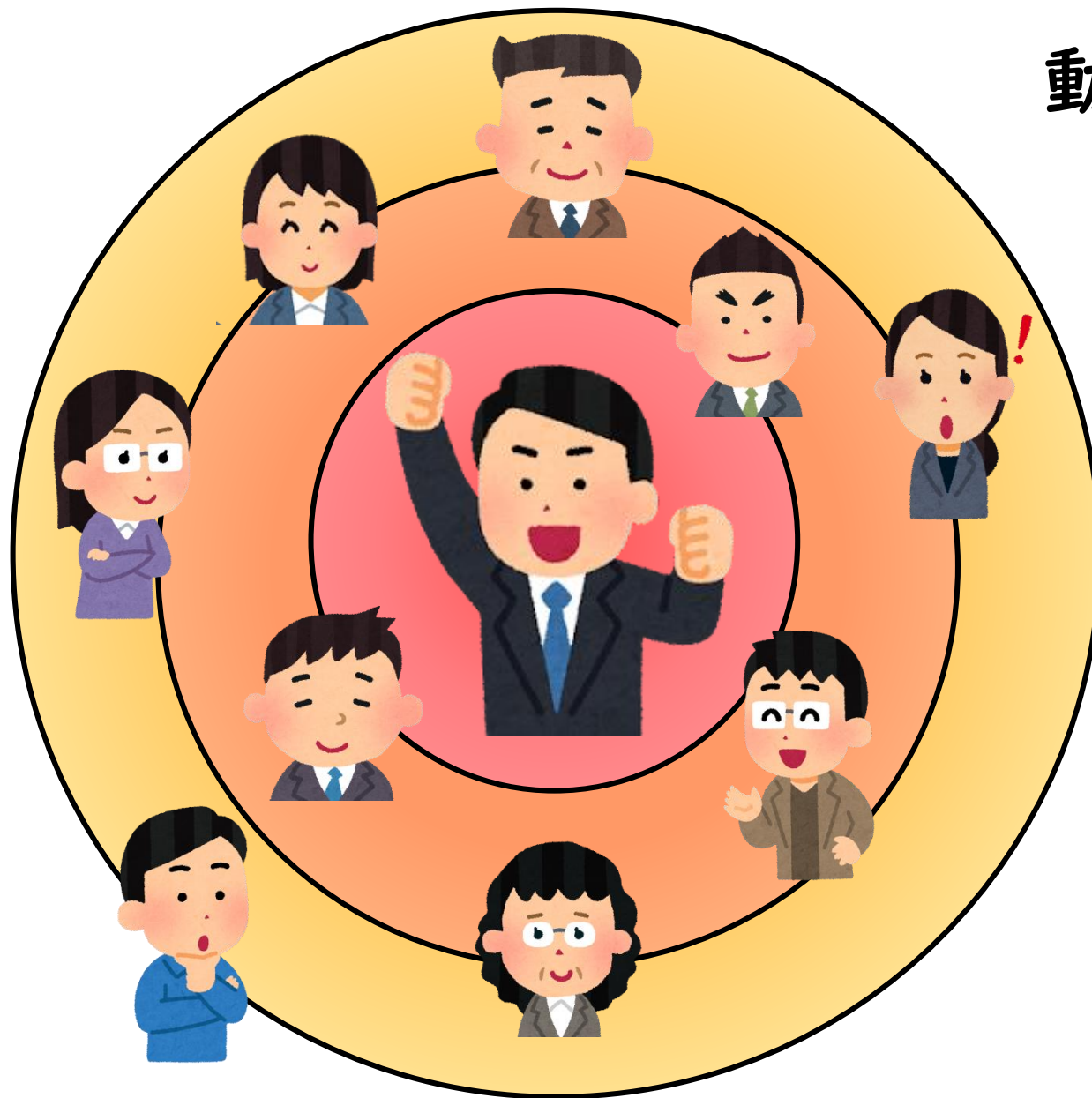
・ 自校の**明確な課題を共有し、同じ方向を目指して**取り組む

・ 教職員同士が学び合い高め合える**職場環境（意識、時間、人材）**ができる

学び合い高め合える教職員組織づくりを進めるために

動機付け

見える化



学び合いの機会

伝承 育成

「学び続ける教師」を育む、学び合い高め合える教職員組織づくり

～日常的な取組の意識化、最適化、活性化～



アンケート用QRコード



京都市総合教育センター

研究課

研究員

大上

由加里